
 * 土浦平和の会 *
 * ニュース 平成7年10月 NO.21 *

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立2664-2
 TEL 31-9122

フランス核実験2度目を強行

フランスは9月6日の第1回のムルロア環礁における核実験に続いて、10月2日朝ポリネシアのファンガタウファ環礁において2度目の地下核実験を強行しました。世界中にわき上がっている反対の世論を無視して次々に実験を繰り返すフランス政府の態度は傲慢というしかありません。今回の実験は原潜搭載用の新型ミサイルの核弾頭と見られ、第1回の5倍にあたる110キロトン級（広島5倍）の核爆弾です。フランスがどう言い訳をしても、これが核保有国の新型核の開発競争を激化させることは避けられません。このことは、世界中の世論にたいする挑戦です。また核保有国が核抑止論という古い論理をふりかざして、核を持たない国々を脅迫・抑圧・支配していることは、非核保有国の核開発の欲望を刺激することにもなりかねません。

私たちの怒りをフランス政府とシラク大統領に届けるにはどうしたらよいか。まず最初に、日本の政府がフランスに対して強力な抗議の意志を表明すること。国中の草の根的な運動の盛り上がりを作り出すこと。そのためには、多様な形態で市民に対する呼びかけを広げていくことしかありません。駅頭での宣伝行動・署名行動に参加しましょう。

10・22百里全県統一反戦集会に参加しよう

沖縄の米兵による少女暴行事件が全国的な怒りを呼び起こしています。今年の10・21反戦デーは全国的にこの怒りを結集して開かれます。戦後50年の今年、いまだに米軍が覇座り、占領下ながらに日本国民を愚弄してはばからない米兵の行為と、日本政府の弱腰の対応を放置しておくことはできません。茨城県では反戦デーを1日遅らせて下記のとうり全県統一集会を行います。百里ではいま民間機乗り入れが検討されています。これを機に滑走路の拡張・増設の企みもあります。怒りを込めて百里に結集しましょう。

とき 10月22日(日) 午前11時から午後3時まで

ところ 百里平和公園とその周辺(日本山妙法寺等)

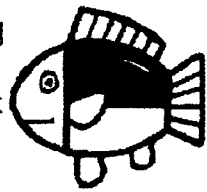
昼食は弁当・おしるこ・ケンチン汁・らーめん等の売店もです。
 2時から人間の鎖。

基地めぐり報告

土浦平和の会恒例の秋の見学会、東京周辺の基地めぐりは9月16日・17日に予定どおりおこなわれました。16日マイクロバスで6時半神立公園を出発。土浦駅で16名全員が顔を合わせました。常磐高速道に入る。参加者の見学への期待やフランスの核実験に対する怒りなどの思いを込めて、自己紹介をしながら新宿に向かいました。新宿からは今度の基地めぐりを案内して下さる神奈川平和委員会の事務局長の藤井あつしさんが乗込んで横田基地へ。東京平和委員会が編集した基地マップを見ると横田は本当に広い。東京ドームが157個分の広さです。残念ながら、予定していた基地前のレストランは予約でいっぱい、屋上も雨の日は解放しないというので、基地の中を覗くことはできませんでした。周辺をバスで走ってその広さを実感しました。

東急相模原駅の線路の向こう側に広がる米軍相模補給所は米軍の世界戦略上重要な補給基地であり、在日米軍が必要とするあらゆる物資が集積されているといえます。相模原で安くて、ボリュームのある、美味しい昼飯を食べて厚木基地へ。基地のフェンスのそばに買取を拒否した土地があります。ちょっとした高台に上って基地の滑走路を眺めました。双眼鏡で覗くと、はるかに霞む滑走路の向こうに格納庫や基地の施設が展開しています。ここで訓練するのは第7艦隊の空母インデペンデンスの艦載機。第7艦隊は出航中です。そうでなかったら轟音で長時間は立っていられないと思われました。夜は横浜中華街”明蘭餐厅”で紹興酒と中華料理の晩餐会。雨の中1日ご苦労さまでした。

2日目の朝は台風の接近が心配で全員早起きして天気予報を聞いていましたが、奇跡は起きません。横須賀に思いを残しながら、台風を背にして一路土浦へと急ぎました。



行事ごよみ

- 10月10日 県平和委員会理事会(水戸市民研修所)
- 10月13日 土浦平和の会理事会(県営神立南団地集会所)
- 10月22日 百里全県統一集会
- 11月23~26日 日本平和大会(沖縄) 希望者募集中